

【学校教育目標】豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成



第五小だより

笑顔あふれる元気な朝霞第五小

令和6年9月号
朝霞市立朝霞第五小学校
朝霞市泉水3-16-1
Tel.048-462-0455



貯金

校長 三好正浩

夏休みが終わり、子供達の元気な声と明るい笑顔が学校に戻ってきました。8月下旬になっても、まだまだ猛暑が続いていますが、耳を澄ませばコオロギの鳴き声が聴こえ、秋がひっそりと近づいている気配がうかがえるようになってきました。

おかげさまで、夏休み中の事故やけがもなく、無事2学期の始業式を迎えることができました。始業式で体育館に並んだ子供達の表情からは、普段の学校生活ではできない様々な体験をし、存分に夏を満喫したことがよくわかりました。ご家庭や地域の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、98歳で詩人としてデビューした柴田トヨさんをみなさんにご存じですか。「くじけないで」という詩集を出されました。その中に「貯金」という詩があります。

100年あまり生き抜いた方のすばらしい人生観が、心にしみわたりました。人は、より多くの優しさをもらうことができたなら、充実した人生を送ることができるように思います。しかしながら、柴田さんのように、優しさを感じるできないと、難しいかもしれませんね。私達大人が、小さなことでも人の優しさにふれたときには、黙っていないで子供達に伝えていかなければ、それに気付く子供には育たないのかもしれないかもしれません。たとえば、お父さん（お母さん）が、「いつもご飯を作ってくれてありがとう。」と言い続けていると、作ってくれた人への感謝の気持ちも変わってくると思います。学校生活の中でも、困っていたり悲しんでいたりに声かけるなど、児童のやさしさにあふれた行動が見られると嬉しくなります。学校・家庭・地域のそれぞれの中で意識して、小さな優しさをたくさん伝えていける朝霞第五小にしたいと思います。

子供は、「学校で学び、家庭でしつけ、地域で育む」といわれます。これからも、子供達を中心に据えた教育活動を進めてまいります。2学期も引き続き、ご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

貯金 柴田 トヨ

私ね 人から
優しさを貰ったら
心に貯金をしておくの

寂しくなった時は
それを引き出して
元気になるの

あなたも 今から
積んでおきなさい
年金より
いいわよ